

# 仁徳陵の樹種について

(宮内庁京都事務所 林園課樹林係からの情報)

メモ) 鉄本 2020.09.28

仁徳陵の樹種と本数の現状について、宮内庁書陵部に問い合わせましたら、京都事務所から以下のよう  
な情報を頂きました。樹木本数は平米当りの樹木数からの積算によるもので概算数です。

明治40年時より樹種が増えているようですが、鳥などによる実生のものだそうです。

## 1. 樹種の種類

### 【前方部南側斜面】

- <上木> クロマツ、スギ、シイ、アラカシ、ヤブニッケイ、ナナミノキ、ヤブツバキ、  
ウラジログシ、マダケ、タラヨウ
- <下木> ナワシログミ、マンリョウ、シュロ、イヌビワ、ヤツデ、コジキイチゴ、  
クサギ、ハゼ、タラノキ、タラヨウ、センダン、チャ、マユミ、アラカシ、シイ、  
イバラ、エノキ、ネザサ
- <下草> ヨウシュウヤマゴボウ、ヤブラン、チジミザサ、ミゾイチゴツナギ、  
ヤエムグラ、イシミカワ、ジュズスゲ、エノキグサ、ヤブジラミ等

### 【前方部西側斜面】

- <上木> スギ、クロマツ、ツブラジイ、ヒノキ、アラカシ、ナナミノキ、エノキ、ハゼ、  
アカメガシワ、ヤブツバキ、モチノキ
- <下木> ヤブツバキ、アラカシ、クサギ、イヌビワ、ヤブニッケイ、サカキ、  
ネズミモチ、マユミ、シャシャンボ、ノイバラ
- <下草> ベニシダ、アオカモジグサ、イタドリ、クズ、ムベ、ワラビ、スイバ、ヨモギ、  
ヨウシュウヤマゴボウ

### 【前方部東側斜面】

- <上木> クロマツ、スギ、クスノキ、ナナミノキ、ヤブツバキ、モチノキ、アラカシ、  
マダケ、ハチク
- <下木> アラカシ、マンリョウ、アオキ、クサギ、ヤブツバキ、タラノキ、ハゼ、  
イヌビワ、ヤブニッケイ、ナナミノキ
- <下草> ベニシダ、ネザサ、ワラビ、ヤブラン、イタドリ、ヨウシュウヤマゴボウ、  
アオカモジグサ、コジキイチゴ

### 【後円部】

- <上木> クロマツ、ナナミノキ、モチノキ、スギ、アラカシ、ヤブニッケイ、タラヨウ、  
ヤブツバキ、サカキ、ヒサカキ
- <下木> ナナミノキ、モチノキ、クサギ、ヒサカキ、タラヨウ、ヤブツバキ、  
ヤブニッケイ、イヌビワ
- <下草> アオカモジグサ、クズ、ヨウシュウヤマゴボウ、ワラビ、スイバ、  
ミゾイチゴツナギ

\*堤防の樹木、樹種については、データがないそうです。

\*御陵本地の材積と本数は、立木(りゅうぼく) 17555.603 m<sup>3</sup> 8,000本 (数字は概算)

\* (注) 上木(うわき) = 上層の樹木、下木(したき) = 低い樹木

以上

## 【参考】仁徳陵に見られる樹木の画像

アラカシ（粗櫨）ブナ科  
常緑高木 高さ20m



ヤブニッケイ（藪肉桂）クスノキ科  
常緑高木 高さ10m以上



ナナミノキ（七実の木）モチノキ科  
常緑高木 5～10m



ウラジロガシ（裏白櫨）ブナ科  
常緑高木 高さ15～20m



タラヨウ（多羅葉）モチノキ科  
常緑高木 高さ10～20m



センダン（梅檀）センダン科  
落葉高木 高さ5～10m



ナワシログミ（苗代葉萸）グミ科  
常緑低木 高さ2～3m



イヌビワ（犬枇杷）クワ科  
落葉小高木 高さ3～5m



ヤツデ（八つ手）ウコギ科  
常緑低木 高さ1～3m



コジキイチゴ（乞食苺）バラ科  
落葉低木 高さ1～2m



クサギ（臭木）シソ科  
落葉小高木 高さ4～8m



シャシャンボ（小々坊）ツツジ科  
常緑低木 高さ1～5m



マユミ (檀) ニシキギ科  
落葉小高木 高さ3～5m



ネザサ (根笹) イネ科  
常緑低木



ツブラジイ (円ら椎) ブナ科  
常緑高木 高さ10～25m



アカメガシワ (赤芽柏) トウダイグサ科  
落葉高木 高さ15m



ヤブツバキ (藪椿) ツバキ科  
常緑高木 高さ5～6m



ヒサカキ (姫榊) ツバキ科  
常緑低木 高さ3～8m



ハゼ (黄檀) ウルシ科  
落葉高木 高さ6～10m



ハチク (淡竹) イネ科  
高さ20m



アオキ (青木) ミズキ科  
常緑低木 高さ1～3m



ミゾイチゴツナギ (溝苺繫) イネ科  
1年草



ヤブラン (藪蘭) キギカクシ科  
常緑多年草



樹木種：約25種類 草類：約23種類